

行政事業レビューシート (環境省)						
予算事業名	使用済製品等の総合的なリユース促進事業		事業開始年度	平成21年度	作成責任者	
担当部局庁	廃棄物・リサイクル対策部		担当課室	リサイクル推進室	室長 上田康治	
会計区分	一般会計		上位政策	廃棄物・リサイクル対策の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	循環型社会形成推進基本法		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	リサイクルよりも優先順位が高く、廃棄物の減量化にも貢献する、使用済製品の適正なリユースの促進に向け、その実態や可能性、推進に向けた課題を調査し、促進策の立案につなげる。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	消費者や地方公共団体、リユース業者等の関係者からの情報収集を通じ、電気電子機器等、使用済製品のリユースにまつわる流通実態、市場規模、環境保全効果を推計するとともに、先進的な取組を行う地方公共団体や業界団体の取組を調査し、リユース促進の課題と普及策について調査する。					
実施状況	家電4品目を含む14品目についての消費者アンケート等を通じ、流通実態や市場規模を推計し、また、環境保全効果の試算を行った。また、地方公共団体のリユースへの取組状況やリユースに対する認識や課題等について把握し、リユース事業者団体による優良事業者支援策の実態についても把握した。 ※(107)家電リサイクル推進事業費と一括実施					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	0	0	5	53	0
	執行額	0	0	12		
	執行率	0	0	240%		
	総事業費(執行ベース)	0	0	12		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	業務仕様書に基づき適切に事業を行っていることについて、成果物の内容、水準から判断している。 また、事業実施の段階でも、随時実施方針及び内容について環境省でチェックするとともに、学識経験者を含む関係者による意見交換会を定期的に行い、その意見を踏まえながら行っている。				
	見直しの余地	容器包装のリユースも含め、より幅広く、また、地方公共団体との協力による具体的なリユースの調査検討を行うため、予算額を拡大させることになったが、引き続き競争性のある契約を実施するとともに、随時事業の進捗状況を把握しながら見直しの必要性を検討し、効率的な事業の展開に努めていく。				
予算・監視・所効見率	<p>抜本的改善</p> <p>(シート番号103番「廃棄物処理・リサイクル事業連携促進3R高度化事業」、シート番号105番「使用済電気電子機器の有害物質適正処理及びレアメタルリサイクル推進事業費」、シート番号106番「使用済製品等の総合的なリユース促進事業費」を整理統合し、効率的な事業実施に努めるべき。)</p>					
補記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額) 単位:百万円					
	平成19年度	平成20年度	平成21年度			
	0	0	0			

環境省
12百万円



【一般競争入札】

A. 三菱UFJリサーチ
&コンサルティング

電気電子機器等の流
通・処理実態調査及び
リユース促進事業業務

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 三菱UFJリサーチ&コンサルティング			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	流通実態調査及びリユース促進調査	12			
計		12	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0